

HCL Unica ライセンス・ガイド



Contents

Chapter 1. ライセンスの概要	1
Chapter 2. ユーザーが行う必要がある操作	2
Chapter 3. HCL ライセンス・ポータル	3
HCL License Portal- ユーザーの追加.....	3
HCL License Portal - デバイスの作成.....	4
HCL License Portal - 管理パスワードの設定.....	7
HCL License Portal - 使用権のマッピング.....	7
HCL License Portal - パッケージのダウンロードとインストール.....	8
Chapter 4. Flexnet ライセンス・サーバー	10
Chapter 5. HCL Unica でサポートされるライセンス・モデル	11
期間ベースのライセンス.....	11
無期限ライセンス.....	12
Unica 起動時のライセンス・チェック.....	12
期限付きライセンス・フロー.....	12
無期限ライセンス・フロー.....	12
アラートと通知.....	13
Unica 製品の使用管理.....	14
Unica Platform ライセンス.....	15
Unica Campaign ライセンス.....	16
Unica Interact ライセンス.....	16
Unica Deliver ライセンス.....	17
Unica Journey ライセンス.....	18
使用量に関する Unica Link ライセンスの詳細.....	19
Chapter 6. ライセンス構成	20
ライセンス・サーバーの可用性.....	21
ライセンスおよび使用量の詳細.....	21
「レポートのダウンロード」をクリックします。.....	23
ローカル・ライセンス・サーバー.....	23
Chapter 7. ライセンスのログ	25

Chapter 1. ライセンスの概要

HCL Unica 製品はライセンス・ベースであり、ユーザーは、HCL Unica 製品の使用を開始するために必要なライセンスを HCL Unica 製品で構成する必要があります。この文書には、HCL Unica 製品のライセンスに関する詳細が記載されています。ライセンスが必須である HCL Unica 製品のリストを以下に示します。

- Unica Marketing Platform
- Unica Campaign
- Unica Interact
- Unica Deliver
- Unica Journey

ユーザーが 12.1 バージョンの Unica 製品のクリーン・インストールまたはアップグレード・インストールを実行し、HCL Unica 製品をデプロイした後、ユーザーはライセンスを構成する必要があります。ユーザーが HCL Unica Platform アプリケーションの URL にアクセスすると、ライセンスの詳細画面にリダイレクトされます。HCL Unica 製品を開始するには、ユーザーがライセンスを構成する必要があります。有効なライセンス情報を指定した後のみ、ユーザーは Unica Marketing Platform のログイン画面にリダイレクトされます。

Chapter 2. ユーザーが行う必要がある操作

HCL Unica のお客様は、E メールを介して HCL License Portal URL およびログイン資格情報を取得します。このポータルには、お客様による購入に応じて割り振られたライセンス使用权があります。お客様は、登録プロセスを完了し、HCL Unica 製品用のデバイスを構成するために、以下に示す手順に従う必要があります。

ライセンス・プロセスに関係する手順の概要を以下の表に示します。

トピック	セクション
HCL License Portal への登録	HCL ライセンス・ポータル on page 3
登録プロセスの完了とユーザーの追加	HCL License Portal- ユーザーの追加 on page 3
デバイスの作成	HCL License Portal - デバイスの作成 on page 4
使用权のマップ	HCL License Portal - 使用权のマッピング on page 7
製品インストーラーのダウンロードおよびインストールとデプロイメントのプロセスの完了	HCL License Portal - パッケージのダウンロードとインストール on page 8
Unica Marketing Platform でのライセンスの構成	ライセンス構成 on page 20
ライセンスおよび使用量の詳細の検証	ライセンスおよび使用量の詳細 on page 21

Chapter 3. HCL ライセンス・ポータル

ライセンス・ポータルでは、HCL 製品およびプラットフォームから購入したソフトウェア使用権のソフトウェア配布と管理の両方が提供されます。ポータルでは、ライセンスの消費方法に対する制御および柔軟性が提供されます。通常、組織にはライセンスの言語に精通している License Manager と識別された人がいて、その人をユーザーとして追加することもできます。そうでない場合は、HCL ソフトウェアの使用を開始するのに十分な手順が記載されています。

HCL License Portal- ユーザーの追加

電子メール・アドレスを使用してポータルにログインし、パスワードをリセットします。



Login

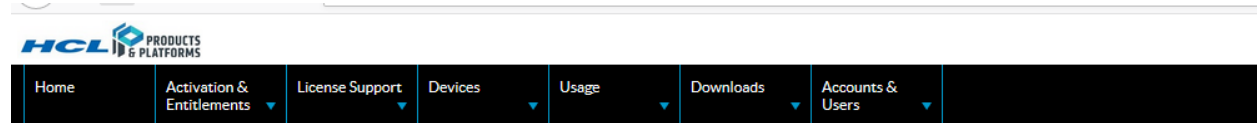
- With User Name
- With Entitlement ID
- With Activation ID

English (United States) ▼

[Forgot password?](#) | [Register](#)

[Log in](#)

ナビゲーション・バナーを使用して、「アカウントとユーザー」、「ユーザーのリスト」の順にクリックします。



アカウントがリストされます。「アクション」、「作成」の順にクリックします。Web フォームの必須フィールドと、組織が必要とする範囲の追加フィールドに必要な情報を入力します。新規ユーザーを適切な権限を持つアカウントにリンクします。

Create User

Enter the user details below. Click Save to create the user.

User Info

Can this user log in to FlexNet Operations? * Yes No

Shared Login: Yes No

Status: Active Inactive

First Name*

Last Name*

Time Zone (GMT -5.0) Eastern Time

Email Address*

Opt in to receive email Yes No

Expiring entitlements email

Phone

Fax

Contact Info

Street

City

State/Province

Zip/Postal Code

Country

Accounts

Actions	
<input type="checkbox"/>	Account ID
	Account name
No accounts linked to this user.	

Save

Cancel

HCL License Portal - デバイスの作成

ナビゲーターのバーで「デバイス」にマウス・ポインターを移動し、「デバイス」をクリックします。

これが HCL 製品およびプラットフォームからの最初の購入である場合、リストは空である可能性があります。そうでない場合は、以前にアカウント用に作成されたデバイスのリストが表示されます。オプションで、以前に作成したこれらのデバイスのいずれかを使用するか、最近購入した使用権用の新規デバイスを作成することができます。「デバイスの作成」をクリックして、新規デバイスを作成します。

実稼働環境、ステージング環境など、HCL Unica 製品の複数の環境がある場合は、実稼働環境専用のデバイスを作成することをお勧めします。実稼働タイプ環境以外の環境では、ライセンスを構成する必要はありません。複数の実稼働環境がある場合は、各実稼働環境に専用のデバイスを作成することをお勧めします。これにより、ライセンスの使用量を実稼働環境ごとに分けておくことができます。各環境から、ユーザーはライセンスの使用状況を確認できます。これらの環境のライセンス使用はすべて、マップされた使用権から消費されます。

使用権消費は、実稼働セットアップ時にのみ測定されます。

Device [New Device](#)

Name:*

Runs license server? ?

ID Type:*

STRING

ID:*

Account: Charlie (Charlie's Chocolates)

Site name:

[Save](#)

デバイスの名前を入力し、「ライセンス・サーバーの実行」を選択します。「サーバー・デプロイメント」で「クラウド」を選択します。後で HCL はローカル・サーバーのサポートを追加します。次に、組織に適したサイト名を入力します。

Device New Device

Name: *


Runs license server? [?](#)

Server deployment: Local Cloud

Site name: [×](#)

Save

サーバーが作成されたことを確認する応答画面が表示されます。ライセンス・サーバー ID を記録します。これは購入したソフトウェアのインストール中に、クラウド・ライセンス・サーバーと対話する際に使用されます。

 Server created successfully.

View Server

View ▾

Action ▾

License Server ID BVHU3N2X9YC5
Auto Provisioned No
 Name CloudLicenseServer
 Site Name ClientNameCLS
 Account : HCL Demo Account (HCL Demo Account)
Server Status : ACTIVE

Model Details

The device model does not include any pre-installed licenses.

No licenses are currently mapped.

HCL License Portal - 管理パスワードの設定

デバイス/サーバーの管理ユーザー・パスワードの設定は必須です。「アクション」にカーソルを移動して、「パスワードの設定」をクリックします。

Set Password

Set the password for an administrative user of this cloud license server instance. This password is required if you want to use the REST API to communicate with your cloud license service.

The password must meet these criteria:

- a length between 8 and 30 characters
- at least one upper case alpha character and one lower case alpha character
- at least one digit
- at least one of these special characters: (*\$+?_&=!%{}#)
- no space

Server ID BVHU3N2X9YC5

Password

Confirm Password

Set Password

HCL License Portal - 使用権のマッピング

使用権は、既存のクラウド・ライセンス・サーバーまたは作成したばかりのサーバーにマップされている必要があります。「アクション」にマウス・ポインターを移動し、「使用権のマッピング」をクリックします。

Map Entitlements

ID GFHJ0MWNCHD7
Name SID
Account: Marketing Suite SVT

Qty to add	Available qty	Total qty	Product	Activation ID
	259	500	HCL_Plan_Enterprise	28bc-5399-1f4a-46f9-a303-3808-63bc-efee
	79887	100000	HCL_Optimize	0651-a42e-80a1-429f-a79f-842f-f3be-ddea
	78776	100000	HCL_Campaign	5531-718a-40bd-4d5d-9eca-35cb-f92c-d234
	74879	100000	HCL_Interact	a81b-d8d0-d3a3-4f20-b9a9-3153-7842-8f8e

Save

すべての使用権をこのサーバーにマップするか、または使用権をサーバー間で分割して、組織内の別のチームに購入を割り当てることができます。確認画面が表示されます。

View Server

View ▾

Action ▾

License Server ID T144A322B8V1
Auto Provisioned No
Name HCLUNICACAT&HERT
Site Name HCLUNICATEST
Account: HCL00001 (PowerObjects (Test Account))
Server Status: ACTIVE

Model Details

The device model does not include any pre-installed licenses.

Licenses

Product	Activation ID
---------	---------------

HCL License Portal - パッケージのダウンロードとインストール

インストールするためのライセンス付きソフトウェアを入手するには、「ダウンロード」にマウス・ポインターを移動し、「ダウンロードのリスト」をクリックします。



Home	Activation & Entitlements ▾	Devices ▾	Downloads ▾	Accounts & Users ▾
------	-----------------------------	-----------	-------------	--------------------

Downloads

Automation

使用权を持っている製品の製品ラインをクリックします。ソフトウェアの最新バージョンと以前のバージョンが使用可能です。

Download Packages

The Download Packages page lists new and archived versions of downloadable components along with helpful details of the download.

Automation

New Versions		Previous Versions	
Description	Date Available	Log Details	
HWA_94FP2_LNX_X86_64_AGENT	Feb 15, 2018	Download Log	

ダウンロード・パッケージをクリックして、ダウンロード・ファイルを選択します

Downloads

HWA_94FP2_LNX_X86_64_AGENT 9.4.0.02

Files		Download Log		Notification Log	
Download Selected Files					
	File Description	File Size	File Added	File Name	
<input type="checkbox"/>	HWA 9.4FP2 Agent for Linux x86_64	501.46MB	Feb 15, 2018	TWSS94FP2_LNX_X86_64_AGENT.zip	1 File(s)

ダウンロードするファイルを選択し、「選択したファイルのダウンロード」をクリックします。ダウンロードを完了し、インストール・プロセス中にサーバー ID を使用して、製品がクラウド・ライセンス・サーバーと対話して、そのサーバーに割り振ったライセンス数量を消費できるようにします。


ソフトウェアのユーザーは、サーバー上で行った使用権の割り振りまで、ソフトウェアを使用する権限を持つユーザーになります。使用権が消費された場合は、メッセージが表示されます。

オーダー・スケジュールの実行時点でオーバードラフト機能に対して「オプトイン」を選択したクライアントは、オンデマンドで使用権レベルを超えることができ、オーバードラフト使用量に対しては毎年請求されます。このプラクティスの条項は、製品固有の条項のオーダー・スケジュールで説明されています。この機能を有効にする場合は、HCL サポート組織にお問い合わせください。

<https://www.hcltech.com/products-and-platforms/contact-support>

Chapter 4. Flexnet ライセンス・サーバー

Flexnet (FNO) はソフトウェア・ライセンス・マネージャーです。Unica 製品ライセンスは、FNO 管理者によって作成されます。ライセンスは、メーター・ベースまたはカウント・ベースのいずれかになります。FNO Admin はライセンス・モデルを作成し、製品および使用権を追加します。さらに、FNO はユーザー・アカウントを作成し、事前に定義された使用権を追加します。

 **Note:** すべての製品について、Platform はオーディエンス・カウント情報を FNO に送信するゲートウェイとして機能します。

Chapter 5. HCL Unica でサポートされるライセンス・モデル

HCL Unica 製品は、以下のライセンス・モデルをサポートしています。

1. 期間ベースのライセンス
2. 無期限ライセンス

以前のバージョンの Unica 製品からバージョン 12.1 にアップグレードする場合、使用権のある既存の製品に対して無期限タイプのライセンスを取得するオプションを選択できます。また、新規製品ライセンスの場合は、期間ベースのライセンスのオプションを選択できます。これは、使用権プランに応じて柔軟です。アップグレード・シナリオでは、使用権に期限付きライセンスと無期限ライセンスを設定できます。

HCL は、HCL Unica スイート内の製品に対し、以下のタイプのカウント・メカニズムをサポートしています。

Unica Marketing Platform	カウント・ベース
Unica Campaign	カウント・ベース
Unica Interact	メーター
Unica Deliver	Metered
Unica Journey	Metered

期間ベースのライセンス

期間ベースのライセンスは、Unica 12.1 製品のインストール/アップグレード時に、すべての新規製品ライセンスに割り当てられます。期間は自由に指定できます。Unica は、複数のオプションを持つ期間ベースのライセンスをサポートします。期間ベースのライセンスには、発効日と有効期限が設定されています。これらの期間ベースのライセンスには、消費に関する制限も含まれる場合があります。Unica でサポートされるこれらのオプションの詳細については、以下を参照してください。

1. 猶予期間を含む期間ベースのライセンス
2. オーバードラフトを含む期間ベースのライセンス。このオーバードラフトには、制限がある場合とない場合があります。

「オーバードラフト」を含む期限付きライセンス・モデルの場合。ユーザーは、HCL Unica 製品の購入に関して HCL License Portal でオーバードラフト使用権を構成します。オーバードラフト機能を使用すると、ユーザーはオンデマンドで使用権レベルを超えることができ、オーバードラフト使用量に対して毎年請求されます。「オーバードラフト」ライセンス・モデルを使用していない場合、使用量が割り当て量を超えると、アプリケーション・アクセスは制限されます。ユーザーが割り当て量を「オーバードラフト」制限モデルから消費した場合も、アプリケーションへのアクセスは制限されます。

猶予期間は、期間ベースのライセンス・モデルで提供される場合もあります。これにより、次の期間の購入プロセスを完了するために使用する猶予期間が与えられます。Unica 製品では、期間ベースのライセンスで 90 日の猶予期間が与えられます。

無期限ライセンス

以前の Unica バージョンから 12.1 にアップグレードする場合、使用权のある既存の製品に対して無期限ライセンス・モデルを使用するオプションを選択できます。無期限モデルには、関連付けられた期間はなく、消費に関する制限はありません。毎年、このライセンス使用量はリセットされ、Unica は次の年の新しい消費の取得を開始します。HCL は、無期限ライセンス・モデルの製品の消費に基づいて顧客に課金します。

Unica 起動時のライセンス・チェック

12.1 バージョンのアップグレードまたはクリーン・インストール後に Unica アプリケーションを起動すると、ライセンスの妥当性が検査されます。Unica アプリケーションが初めて起動すると、ライセンスの入力を求めるプロンプトが出されます。ライセンスの詳細を指定する必要があります。Unica は、非実稼働環境でライセンスを構成する必要はありません。実稼働環境に関連付けられたライセンス・デバイスは、関連付けられた Unica Marketing Platform の使用权を持つ必要があります。デバイスにそれぞれの製品の使用权が含まれていない場合、アプリケーションにアクセス/起動することはできません。

期限付きライセンス・フロー

使用权内の製品のいずれかが期間ベースのライセンス・モデルである場合、以下のシナリオで経過します。

1. 期間が満了し、猶予期間がないかまたは猶予期間が経過した場合、それぞれの製品にはアクセスできません。
2. 割り当て量が使用され、ユーザーがオーバードラフトを持っていない場合、それぞれの製品にはアクセスできません。
3. 割り当てられた量が使用され、制限付きオーバードラフト割り当て量も使用されている場合、それぞれの製品にはアクセスできません。

期間ベースの使用权期間が発効日から有効期限の間であり、消費が割り当て量を下回っている間は、製品を使用して使用权を消費することができます。

無期限ライセンス・フロー


無期限ライセンスには制限や有効期限はありません。Unica でサポートされている無期限ライセンスは、制約のない「オーバードラフト」です。無期限ライセンスの消費は毎年リセットされます。Unica では使用状況によりリセット後も使用权カウントは更新され続けます。

アラートと通知

Unica は、ライセンス使用状況に関するさまざまなイベントまたはトリガーに関するアラートと通知を送信します。通知とアラートが、役割「管理者役割」(HCL Marketing Platform)を持つユーザーに送信され、そのユーザーに対してシステム・アラート(「Unica Platform の通知サブスクリプション」の下)がオンに設定されます。

ライセンス・タイプ	製品	アラートまたは通知	シナリオ
期間/無期限	Unica Marketing Platform	アラートと通知の両方	Unica Marketing Platform の有効なライセンスが見つからない
期間	すべて	アラートと通知の両方	期限付きライセンス - 期間の中間に到達
期間	すべて	アラートと通知の両方	期限付きライセンス - 期限切れまで 30 日
期間	すべて	アラートと通知の両方	期限付きライセンス - 期限切れまで 7 日
期間	すべて	アラートと通知の両方	期限付きライセンス - 期限切れまで 24 時間
期間	すべて	アラートと通知の両方	期限付きライセンス - 期限切れまで NN:NN 時間
期間	すべて	アラートと通知の両方	期限付きライセンス - 既に有効期限が切れている。
期間	すべて	アラートと通知の両方	期限付きライセンス - 猶予期間の詳細
期間	すべて	アラートと通知の両方	期限付きライセンス - 毎日、猶予期間が終了するまで
期間	すべて	アラートと通知の両方	期限付きライセンス - 猶予期間が終了するとき
期間	すべて	アラートと通知の両方	使用量カウント - 使用率 50% に到達
期間	すべて	アラートと通知の両方	使用量が 75% に到達
期間	すべて	アラートと通知の両方	使用量が 90% に到達
期間	すべて	アラートと通知の両方	使用量が 95% に到達
期間	すべて	アラートと通知の両方	使用量が 100% に到達

ライセンス・タイプ	製品	アラートまたは通知	シナリオ
期間	すべて	アラートと通知の両方	ライセンス使用量の期限が切れている
期間	すべて	アラートと通知の両方	オーバードラフト (ある場合) を含むライセンス使用量の詳細
期間	すべて	アラートと通知の両方	オーバードラフトを含む使用量の詳細 - オーバードラフトが終了するまで。
無期限	すべて	アラートと通知の両方	使用量カウント - 利用率 50% に到達
無期限	すべて	アラートと通知の両方	使用量が 75% に到達
無期限	すべて	アラートと通知の両方	使用量が 90% に到達
無期限	すべて	アラートと通知の両方	使用量が 95% に到達
無期限	すべて	アラートと通知の両方	使用量が 100% に到達
無期限	すべて	アラートと通知の両方	制限のない割り当て量で使用されているライセンス使用量

 **Note:** Marketing Platform および Campaign 製品は、カウント・ベースのライセンス・モードをサポートします。これらの製品の使用量の範囲は変動します。つまり、上がったたり下がったりする可能性があります。使用量が複数の値に達すると、通知がユーザーに送信されます。通知は、使用権使用の複数の値まで消費したときに初めてユーザーに送信されます。

Unica 製品の使用管理

Unica は、UPP (Unica Power Pack) およびアラカルト・パーツの下に分類される期限付きライセンスおよび無期限ライセンスを提供します。ライセンスには 1 年間の有効期間があります。

顧客は、サブスクライブしているユニット数 (UPP) に基づいて課金されます。

Unica 製品	UPP	使用権
Unica Marketing Platform	4 ユーザー	ユーザーには 4 ユーザーの使用権があります
Unica Campaign	250k オーディエンス・レコード	ユーザーには 250K の異なるオーディエンス・レコードを使用する権利があります

Unica 製品	UPP	使用権
Unica Interact	1200 万のオムニチャネル対話	ユーザーには 1200 万のセッションを使用する権利があります
Unica Deliver	1200 万件の Deliver (E メッセージ)	ユーザーは 1200 万件の E メッセージを送信する権利があります
Unica Journey	1200 万の Journey オーディエンス	ユーザーには 1200 万の Journey オーディエンスを持つ権利があります

Unica Platform ライセンス

Unica Marketing Platform の使用権は、以下のように計算されます。

- 作成された各新規アクティブ・ユーザーは 1 回の使用としてカウントされます
- 「無効」から「アクティブ」に更新された各ユーザーは、1 回の使用としてカウントされます
- 削除された各ユーザーは、使用カウントを 1 ずつ削減します
- LDAP からのすべての同期ユーザーは使用としてカウントされます
- すべての SAML ユーザー (手動/リアルタイムでのユーザー作成) は使用としてカウントされます
- アプリケーションを手動でデプロイした後、修正を行う必要はありません。
- マスターおよびスレーブ・プラットフォーム - これは、複数のサーバー・グループを含む Interact に使用されます。詳しくは、後続のセクションの Interact ライセンスの詳細を参照してください。

1 つのライセンス・デバイスは 1 つの Unica アプリケーションでのみ使用できます。これは Unica アプリケーション URL で識別されるので、SiteMinder または ISAM の構成後に Unica ライセンスを適用する必要があります。URL が変更される前に Unica が既にデバイスに登録されている場合は、次のエラーが表示されます。「1 つ以上のホストがライセンス・サーバーに接続されています。アプリケーションは、同じライセンス・デバイスに接続する複数のホストをサポートしていません。アプリケーションの使用を続行するには、アプリケーションのライセンスの詳細を更新してください。」

この場合、SiteMinder/ISAM を使用して Unica アプリケーションの高速アップグレードまたは構成を実行するか、あるいはアプリケーション URL を変更してから、以下の手順を実行する必要があります。

1. バージョン 12.1 のアップグレード (インプレイス・アップグレードまたは高速アップグレード) またはクリーン・インストールを完了したら、Unica 環境に NON-PRODUCTION モードを適用します。
2. アプリケーション URL を変更する場合は、ISAM/Siteminder ログイン方法を構成するか、Unica アプリケーション URL で変更を実行します。

この処理が完了すると、ライセンスが有効になっているアプリケーションを引き続き使用できます。何らかの理由でアプリケーション URL を変更する必要がある場合は、新規デバイスを生成して Unica アプリケーションで使用する必要があります。

 **Note:**

1. アクティブ・ユーザーのみ課金されます。
2. デバイスの切り替えは許可されません。
3. 単一デバイスは複数の Unica 環境をサポートしません。誤った消費カウントを含むレポートが生成される可能性があるからです。

Unica Campaign ライセンス

Unica Campaign 使用権の消費は、以下のように計算されます。

- 個別のオーディエンス・レコードは、1 使用権としてカウントされます。
- Unica Campaign ライセンスの使用は、フローチャートでマップされたベース・テーブルについてのみ測定されます。
- Unica Campaign ライセンスの使用は、ライセンス期間中に実行されるフローチャートのベース・テーブル・レコード数を測定します。
- マップされたテーブル/ファイルのフローチャートは、個別のオーディエンス数を取得するためにスキャンされます。
- オーディエンス・レベルにマップされたベース・テーブルが複数ある場合、個別のオーディエンスに関するレコードの最大数が考慮されます。
- ベース・テーブルをデータベース表または物理ファイルにマップできます。
- オーディエンスごとに、各オーディエンスの最大レコードが考慮されます。
- 消費カウントは、オーディエンス・レベルごとのオーディエンス・レコードの合計です。
- Campaign パーティションごとに同じプロセスが繰り返されます。Campaign は、各パーティションのレコードの合計を Platform に送信します。

Campaign 消費量は、以下の式を使用して計算されます。

パーティションごとのレコードの合計 (オーディエンス・レベルごとのレコードの合計 (実行された各フローチャートのすべてのベース・テーブルからの個別レコードの最大値))。

Unica Interact ライセンス

Unica Interact の使用権は、以下のように計算されます。

- 作成された各新規セッションは 1 回の使用としてカウントされます
- 各セッションには、最大 10 回の API 呼び出しが含まれます。その後、10 回の API 呼び出しの各セットは、追加の API 呼び出しとしてカウントされます。
- バッチ実行での各 API 呼び出しは個別にカウントされます。
- getVersion、endSession、setDebug はカウントされません
- Interact の複数のサーバー・グループ:

Interact を使用していて、複数の Marketing Platform インスタンスを使用して複数の Interact サーバー・グループがインストールされている場合は、ライセンスの詳細画面で提供されるオプションを使用して、マスターおよびスレーブとすることができます。

ライセンスの詳細ページで、現在のプラットフォームをスレーブにするには Platform ラジオ・ボタンを選択します。このオプションを使用して、Marketing Platform を Interact ランタイム・サーバー・グループとして使用することができます。ランタイム・サーバー・グループとして使用される各 Marketing Platform インスタンスは、このオプションを選択する必要があります。

選択時に、ユーザーにマスター・プラットフォーム URL を求める画面が表示されます。ライセンス・サーバーに接続している Marketing Platform の Marketing Platform URL を指定する必要があります。

アクティブ・ユーザー資格情報 (ユーザー名/パスワード) を入力できます。詳細を入力して認証が成功すると、スレーブ・プラットフォームはマスター Marketing Platform を介してライセンス・サーバーに接続します。使用量は、マスター Marketing Platform に接続されているライセンス・サーバーでレポートされます。

スレーブ・プラットフォームは、使用権消費カウントを保守するためにマスター・プラットフォームを呼び出します。スレーブ・プラットフォームによってプッシュされたインタラクション・カウントが、マスター・プラットフォームのインタラクション・カウントに追加されます。両方 (マスターとスレーブ) の合計カウントが FNO にプッシュされます。

例:

- マスター・インタラクション・カウント = 10
- スレーブ・インタラクション・カウント = 5
- ライセンス・サーバーで更新するインタラクション・カウントの合計は $10+5 = 15$ です

Unica Deliver ライセンス

Unica Deliver の使用権は、以下のように計算されます。

- Deliver を使用して送信される E メールは、月単位または年単位でトラッキングされます。
- Deliver を使用した 1 件の E メール送信は、1 使用権としてカウントされます。
- ユーザーには、1 カ月あたり 100 万件の Unica Deliver E メール・メッセージの使用権があります。これは 1 年以内で別の月に持ち越し可能です。
- ユーザーには、毎年 1200 万件の Unica Deliver E メール・メッセージの使用権があります。
- カウントされるメールの種類は、実稼働メール、テスト・メール、スケジュール・メール、バウンス・メール、TMS の 5 種類です。



Note: バージョン 12.1.0.3 以降の Deliver ライセンスは、販売店と委託の 2 つのタイプに分割されます。

パートナー・モデルに基づいて、Deliver ライセンスには、販売店と委託の 2 つのタイプがあります。

パートナー・モデル (委託と販売店)


1. 委託契約 (別名チャネル・パートナー)

- 顧客はパートナーと直接契約します
- 伝えられた価格変更通知は、顧客に直接公開されます
- 顧客に価格変動が公開され、可能な限り低い価格の恩恵を受ける場合の取引で好まれます。
- 使用量/課金システムでの HCL 価格変更を管理する際の管理オーバーヘッドが最小です。
- 年間の取引に関する更新のやり取りを最小限に抑えられます。

2. 販売店契約

- 顧客は HCL と契約し、パートナーは HCL に請求し、HCL は顧客に請求します。
- 価格変更通知は期間更新時 (1 年ごと) に更新されます。
- 顧客が単一の契約を希望する場合の取引で好まれます。
- 更新を管理する際の HCL の管理オーバーヘッドが軽微です。
- パーツおよび価格リストは、定期的な更新と保守が必要です。
- HCL は、価格の上昇に対しての価格の安定性を提供することができ、E メール/SMS のワンストップ 小売店契約を提供できます。
- WhatsApp は再販売できません。WhatsApp の顧客にのみ委託できます。

製品	タイプ
Deliver_Email_Messages	HCL 所有
Deliver_SMS_Karix	リフェラル
Deliver_SMS_Twilio	販売店
Deliver_SMS_RML_Channel	リフェラル
Deliver_SMS_RML_Reseller	販売店
Deliver_Whatsapp_RML	リフェラル
Deliver_Litmus	販売店
Deliver_Mailmonitor	販売店
Deliver_Push_Kumulos	販売店

 **Note:** バージョン 12.1.0.4 以降では、Deliver プッシュ・メッセージを送信するための Deliver_Push_Kumulos が導入されました。

Litmus および Mailmonitor ライセンスは実稼働環境以外では構成できません。Litmus の場合、各クライアントのプレビューは 52 ライセンスを消費します。また、オーバードラフト機能は、どの販売店、Litmus、および MailMonitor でも使用できません。販売店、Litmus および MailMonitor の場合、割り当て済み使用権が消費された後は、ユーザーはその機能を使用できません。

Push_Kumulos

Deliver_Push_Kumulos ユーザーは、FNO からプッシュ・メッセージを送信するための使用権を取得できます。ライセンスはカウント・ベースです。カウントは、アプリをインストールしたアクティブなサブスクリイバーの固有の数に基づいて行われます。サブスクリイバーがアプリをアンインストールするごとに、消費される使用権のカウントが削減されます。

Unica Journey ライセンス

Unica Journey の使用権は、以下のように計算されます。

- 各 Journey のオーディエンス (顧客または他のマーケティング可能なエンティティ・レコード) は、1 使用権としてカウントされます。
- Journey の破棄されたオーディエンス・レコードは使用権にカウントされません。
- Journey は消費カウントを Marketing Platform に送信します。Marketing Platform は使用量の詳細をライセンス・サーバーに定期的に送信します。
- ユーザーには、1 カ月あたり 100 万件の Journey オーディエンスまたはレコードの使用権があります。これは 1 年以内で別の月に持ち越し可能です。
- ユーザーには、毎年 1200 万件の Journey オーディエンスの使用権があります。

Journey のライセンス・メカニズムでは、毎日のオーディエンス消費のカウントを真夜中から開始します。Journey の非実稼働環境でライセンスを適用する際には、ライセンスを適用する前に消費/オーディエンスが Journey にプッシュされる必要はありません。ライセンスを適用する前の同じ日に消費がある場合は、Journey 消費の使用率に追加されます。

使用量に関する Unica Link ライセンスの詳細

Unica Link は、Marketing Platform で構成されたライセンスの詳細を使用します。Unica Link (フレームワークおよびコネクター) では、以下の使用権を利用できます

- Link Framework
- HCL_LINK_Mailchimp
- HCL_LINK_Mandrill
- HCL_LINK_Twilio
- HCL_LINK_Salesforce

要件に従って、必要なライセンス使用権を追加できます。Campaign または Journey ユーザーは、ライセンス検証なしで接続を使用できます。Unica Link の有効な使用権を持っていない場合、これらのコネクターを使用している Campaign フローチャートまたは Journey を実行できない場合があります。


一定の間隔 - Unica Platform は、ライセンス・ポータル接続使用状況を更新します。いずれのコネクターも使用していない場合、ライセンス消費カウントは 0 (ゼロ) で、Unica Campaign または Journey で接続の使用を開始すると、0 (ゼロ) から正数に変更されます。

Unica Link ライセンスは、使用または未使用としてカウントされます。0 (ゼロ) は未使用を示し、正数は使用中を示します。Unica Link の消費は、接続の数に基づいて測定されません。

ラ使用権の適用中も Unica Link は使用権の数を考慮しないので、初期カウントは 0 (ゼロ) のみが表示されます。

Chapter 6. ライセンス構成

ユーザーは使用開始前に HCL Unica 製品のライセンスを構成する必要があります。ユーザーが Unica Platform ログイン URL にアクセスすると、ライセンス構成ページにリダイレクトされます。ユーザーは、このページでライセンスの詳細を構成する必要があります。Unica Platform がライセンスを検証し、成功すると、構成ユーザーは Unica Marketing Platform のログイン画面にリダイレクトされます。「ライセンス構成」画面には Flexnet と Platform の 2 つのラジオ・ボタンがあります。Flexnet ボタンは Flexnet に接続してライセンスを消費し、Platform はマスター・スレーブ構成用のオプションです。スレーブ・プラットフォームはマスター・プラットフォームからライセンスを消費します。したがって、スレーブ・プラットフォーム・ユーザーは Platform ラジオ・ボタンをクリックし、マスター・プラットフォームの URL と資格情報を入力する必要があります。これが完了すると、スレーブ・プラットフォームはマスター・プラットフォームからライセンスの消費を開始し、その後 Flexnet からライセンスを消費します。

ライセンス・サーバー	License Server API の URL。ユーザーは HCL License Portal からライセンス・サーバーの URL を取得できます。Flexnet ライセンス・サーバーのサンプル URL <a href="https://hclsoftware.compliance.flexnetoperations.com/api/1.0/instances/<DeviceId>">https://hclsoftware.compliance.flexnetoperations.com/api/1.0/instances/<DeviceId>  Note: Deviceid は個々のユーザーのデバイス ID です
ユーザー	HCL License Server - デフォルトで作成されたデバイスでは「admin」ユーザーがサポートされます。
パスワード	デバイス用に設定されたパスワード
Unica 環境タイプ	ユーザーは、これが「実稼働」環境か「非実稼働」環境かを指定できます。
プロキシ	HCL License Portal に接続するには、プロキシ・サーバーを使用します。HCL License Portal へのアウトバウンド・アクセス権がない場合は、プロキシ・サーバーを使用します。
プロキシ・ホスト	プロキシ・サーバーのホスト名または IP アドレス
プロキシ・ポート	プロキシ・サーバー・ポート
プロキシ・ユーザー	プロキシ・サーバー・ユーザー
プロキシ・パスワード	プロキシ・サーバー・ユーザーのパスワード

License details

Flexnet Platform

*License server URL

*Username *Password

Proxy

*Proxy host *Proxy port

*Proxy user *Proxy password

[Save](#)

これらのライセンス・サーバーの詳細はすべて Unica Platform に保存されています。ライセンスの詳細の変更が必要な場合、ユーザーは「設定」>「ライセンスの詳細」ページに移動できます。

ライセンス・サーバーの可用性

HCL Unica 製品は、常に HCL License Portal に接続する必要があります。HCL License Portal との接続は、以下の複数の方法から選択できます。

- Unica アプリケーションから HCL License Portal に直接接続します。
- プロキシ・ベースの接続を使用して Unica アプリケーションから HCL License Portal に接続します。
- HCL License Portal 用のローカル・ライセンス・サーバーをセットアップし、Unica アプリケーションからローカル・ライセンス・サーバーに接続します。

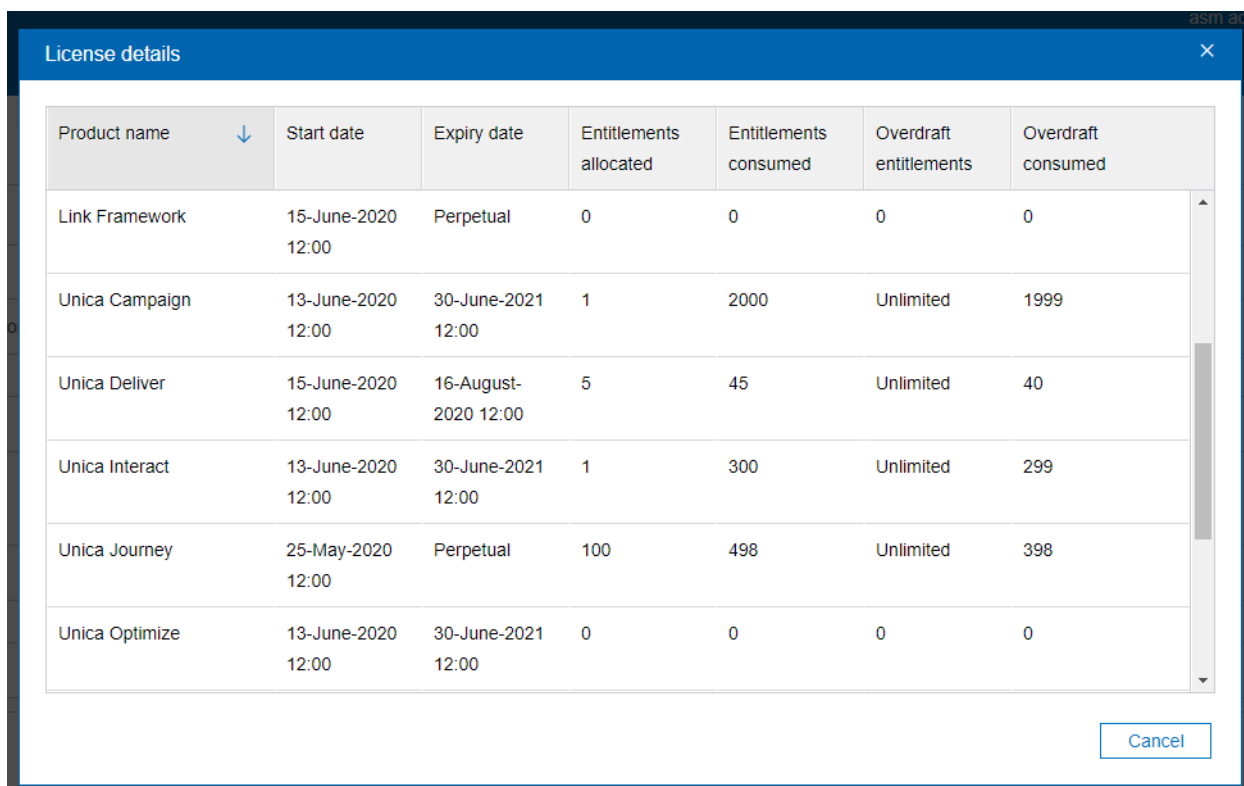
Unica アプリケーションでは、ライセンスを実稼働環境で構成する必要があります。ライセンスの詳細が構成され、Unica アプリケーションがライセンス・サーバーに初めて接続すると、ライセンスの詳細が保管されます。HCL Unica 製品は、使用量の詳細を 10 分ごとに HCL License Portal に更新し続けます。接続に問題がある場合、使用量の詳細は Unica Platform で保持され、接続が確立されると、使用量は HCL License Portal で更新されます。さらに長い期間、Unica アプリケーションと HCL License Portal との間に接続の問題がある場合 - Unica アプリケーションは Unica アプリケーションに保管されている情報を使用します。構成されたライセンスのタイプに基づいて、アプリケーションへのアクセスまたは使用を許可または制限します。

ライセンスおよび使用量の詳細

ユーザーは、ライセンス使用量の詳細を HCL License Portal、および Unica Platform のライセンスの詳細ページで確認できます。ユーザーは、「設定」>「ライセンスの詳細」ページに移動できます。「ライセンスの詳細の表示」ページをクリックすると、すべてのライセンス製品のライセンス使用量カウントが表示されます。

製品名	使用権が割り当てられた HCL Unica 製品の名前
ライセンス・タイプ	期間/無期限

開始日	使用権の開始日
有効期限	使用権の有効期限 (無期限ライセンスは適用外)
利用可能な使用権	デバイスまたはサーバーに割り当てられた使用権の総数。
消費済み使用権	現在まで消費された使用権の数
オーバードラフト使用権	使用されているライセンス・モデル。現在のモデルは無制限のオーバードラフトをサポートします。(無期限ライセンスは適用外)
消費済みオーバードラフト	消費された使用権と利用可能な使用権の間の差異。(無期限ライセンスは適用外)




Product name	Start date	Expiry date	Entitlements allocated	Entitlements consumed	Overdraft entitlements	Overdraft consumed
Link Framework	15-June-2020 12:00	Perpetual	0	0	0	0
Unica Campaign	13-June-2020 12:00	30-June-2021 12:00	1	2000	Unlimited	1999
Unica Deliver	15-June-2020 12:00	16-August-2020 12:00	5	45	Unlimited	40
Unica Interact	13-June-2020 12:00	30-June-2021 12:00	1	300	Unlimited	299
Unica Journey	25-May-2020 12:00	Perpetual	100	498	Unlimited	398
Unica Optimize	13-June-2020 12:00	30-June-2021 12:00	0	0	0	0

 **Note:** ライセンスの詳細ページには、HCL Unica 製品のアクティブな使用権だけが表示されます。

使用状況レポート

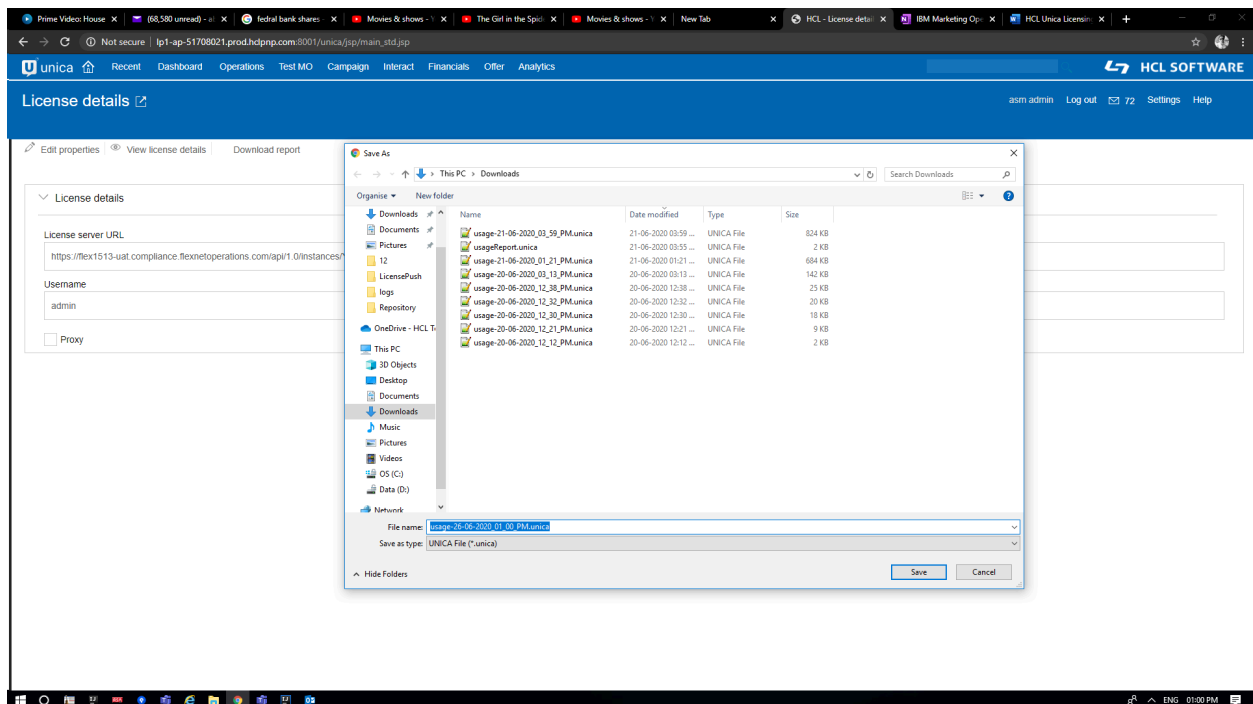
「使用状況レポート」タブをクリックすると、関連デバイスでの1日あたりの使用権消費に関する詳細情報を表示するダイアログ・ボックスが開きます。日付範囲を入力し、「検索」ボタンをクリックして、示された日付範囲の使用状況レポートを表示します。デフォルトでは、現在の日付範囲は、現在の年の1月1日から現在の日付に設定されます。このポップアップには、選択した Unica 製品のリストと、それらの製品の使用権消費カウントが表示されます。

「ダウンロード」 ボタンをクリックすると、使用状況レポートをダウンロードできます。レポートは PDF 形式で生成されます。

 **Note:** V12.1 フィックス・パック 3 以降では、使用状況レポートを検索およびダウンロードできます。

「レポートのダウンロード」をクリックします。

「レポートのダウンロード」 ボタンをクリックすると、拡張子が「.unica」の暗号化されたファイルがダウンロードされます。このファイルをユーザーが表示することはできません。暗号化されたファイルを復号化するには HCL チームに送信する必要があります。監査中、ユーザーはこの使用状況レポートの破棄を求められます。



ローカル・ライセンス・サーバー

クラウド・ベースのライセンス・サーバーに接続できない可能性があります。このシナリオでは、以下の 2 つのオプションを使用できます。

1. プロキシ接続を使用したクラウド・ライセンス・サーバーへの接続
2. ローカル・ライセンス・サーバーへの接続

Flexera は、クラウド・ライセンス・サーバーに接続しない場合に、ローカル・ライセンス・サーバーを使用する機能を提供します。ユーザーは使用開始前に HCL Unica 製品のローカル・ライセンスを構成する必要があります。ユーザーが Unica Platform ログイン URL にアクセスすると、ライセンス構成ページにリダイレクトされます。The user needs to configure the license details on this page. Unica Platform がライセンスを検証し、成功すると、構成ユーザーは Unica Platform のログイン画面にリダイレクトされます。

ローカル・ライセンス・サーバーをセットアップするための手順の概要は、以下のとおりです。

1. HCL サポートおよび FNO 管理者に連絡して、Flexera ローカル・ライセンス・サーバー・インストーラー・パッケージと readme を取得してください。
2. readme.txt の説明に従って、ローカル・ライセンス・サーバーをインストールします。
3. 必要な使用権を持つデバイスを作成します。
4. ライセンスの詳細を含む bin ファイルをデバイスからダウンロードします。
5. このライセンスの詳細 bin ファイルをローカル・ライセンス・サーバーにインポートします。
6. HCL Unica Platform でライセンスの詳細を構成する場合は、ローカル・ライセンス・サーバーの詳細を使用します。

ライセンス・サーバー URL	ローカル・ライセンス・サーバーへの接続時に、以下に示す「ライセンス・サーバー」フィールドにローカル・ライセンス・サーバー URL を指定する必要があります。 https://<Locale server IP>:<port>/api/1.0/instances/ <instance ID>  Note: Here Deviceid is individual user Device Id
----------------	---

 **Note:**

- その他のプロパティの詳細については、[「ライセンス構成」\(ページ 24\) on page 20](#)を参照してください。
- ローカル・ライセンス・サーバーの構成が完了したら、ローカル・ライセンス・サーバー証明書を HCL Unica にインポートする必要があります。

Chapter 7. ライセンスのログ

ライセンス・サーバー接続、更新、有効期限などの詳細なログは、<PLATFORM_HOME>/logs/platform.log の下に
ある Unica Platform ログ・ファイルに記録されます。ユーザーには、ライセンスに関連する警告、エラー、情報タイ
プのメッセージが表示されます。

例 1:

ライセンスは 10 分ごとに HCL License Portal から同期され、Unica Campaign の有効なライセンスが見つかったと
きに、次のようなメッセージが記録されます:

以下のライセンスが見つかりました: Unica Campaign、使用可能な使用権の合計は15 で、2019 年 6 月 26 日に有効
期限が切れます

例 2:

5 日以内にライセンスが期限切れになる場合は、以下の警告メッセージがログに記録されます。

製品 Unica Campaign ライセンスがサーバー上に存在し、4 日後に有効期限が切れます。2018 年 6 月 26 日より前に
使用権を更新してください

例 3:

HCL Plan のライセンスの有効期限が既に切れている場合は、以下の警告メッセージがログに記録されます。

製品 HCL Plan ライセンスがサーバー上に存在しますが、2018 年 6 月 22 日に有効期限が切れています。